

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

中区・磯子区・金沢区
まなかと
政治版

政治の安定から暮らしの元気を創ります



自民党公認
松本純

**前防災大臣、
国家公安委員長の
経験を活かして**

●2012年12月、安倍内閣は「デフレからの脱却」を掲げ、画期的なアベノミクスを断行、株価は政権交代前の9,000円前後から20,000円へ、完全失業率は政権交代前の4.3%から2.8%に落ち着き、有効求人倍率もハブル期を超える1.52倍と43年ぶりの高水準へと達しました。その一方で、少子高齢化、異常気象、外的脅威などの問題が改善されたわけではありません。
●この改善には長期計画とそれに基づき継続的かつ柔軟な対応が問われます。そのために必要なのは、安定した政治です。
●松本純は、「政治の安定」のため全力を尽くします。



www.jun.or.jp

**命を守り抜く。防災、減災で、
安心・安全な街づくりを進めます。**
●防災大臣、国家公安委員長の経験から、強く学んだことは、もしもの時の予防策の大切さと初期対応の重要性です。いつ勃発するかわからない自然災害や外的脅威等から皆様の生命と財産を守り抜きます。

**いとなみを守り抜く。安心して
生業が持続できる政治を続けます。**
●日本の企業のうち大企業は0.3%、そして、労働者の約7割は中小企業に勤めています。この両輪が稼働してこそ、安心な暮らしと社会福祉が成立するので、生活者が日々の営みの充実を実感できる政治を続けます。

**海洋国家日本、その玄関口横浜。
新たな街を創ります。**
●日本は海洋国家であり、日本最大の玄関口が横浜です。古き良きものを大切にしながら、時代に対応した大型旅客ターミナルの建設や新コンベンションセンター、新交通システムなど、街の人にも愛され、内外からの来街客にも対応できる都市計画を横浜市と連携して支えます。

まつもとじゅんプロフィール
●第3次安倍第2次改造内閣(平成28年8月3日発足)で国務大臣として、国家公安委員会委員長、領土問題担当大臣、国土強靱化担当大臣、内閣府特命担当大臣(防災)(消費者及び食品安全)(海洋政策)を歴任
●昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ。本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師。本町小PTA会長、横浜J.C専専理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組み
●平成8年、衆議院総選挙で初当選。専門を生かし年金・医療・介護などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人となる
●平成20年、麻生内閣で官房副長官に任命される
●平成24年、厚生労働委員会委員長として法案審査の促進をはじめ国政調査に携わる



立憲民主党公認
しのはら豪

**まっとうな政治。
正々堂々と!**

**ブレず、筋を通して、
愛する日本のために。**

**なぜ立憲民主党
なの?** **なぜしのはら豪
なの?** **なぜ地元出身が
大切?**
分断と排除の政治が、今の政治に怒りや危機感を持つ、多くの国民の暮らし、現場のリアルな声に根ざした、ボトムアップの政治を実現する。それが私たちの描く、日本の未来です。私は市議時代の実績が評価され国会議員に選ばれた。愛する地元の方々と積み重ねた経験・時間こそ、政治の本質部分に大切な要素です。これからは全力で、大切に考えていきます!

**改革の先頭に立って!
日本の未来を描きます。**

- GO 1** 1日も早く原発ゼロへ。
●「自然エネルギー立国」に電力自由化で、相対的に高コストな原発を削減し、環境に優しい再生可能エネルギーの普及を促す。
- GO 2** 現実的な日本の外交・安全保障政策。
●憲法違反にもとづく日本の外交、現実的な安全保障関係の構築。今の安全保障環境に即応し、立憲主義にもとづく現実的な法整備を推進。
- GO 3** 生活の現場から暮らしを立て直す。
●誰もが実感できる経済成長。実質賃金上昇による中間層の再生。●保育・教育・医療・介護分野の資金底上げ。女性の雇用・賃金差別撤廃。●誰もが安心して暮らせる社会。よりよい社会ビジョンの提示。
- GO 4** 次代に責任、子どもたちのために。
●子供たちが将来にツケを回さない。真に責任ある未来への取り組み。●地域の権限で多様な子育て支援サービスを提供する制度の構築。●誰もが学ぶ機会を確保できる社会の実現。学力格差の解消。
- GO 5** 社会保障制度改革、先送りにNO!
●消費増税分の公共事業費用を止め、社会保障(年金・医療)を維持。●同労働同一賃金法を制定し、正規・非正規の区別ない労働制度の構築。●地域医療と介護の切れ目のないサービスの提供。入院の継続問題を解消。
- GO 6** 身を切る改革、行政情報公開
●議員定数の減、歳費30%削減。国と地方自治体との関係を適正化。●次代にツケをまわすバラマキ事業を省き、財源は生活現場の方向へ。●森友・加計問題の本質、権力と行政の癒着を情報公開で徹底撲滅。

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

愛する地元から国を変える 幼少時代から磯子区で育ち、金沢区選出の横浜市議として、中区市会で働き衆議院議員に!
プロフィール 1975年2月生まれ 早稲田大学大学院政治学専攻修士課程修了 早稲田大学卒 逗子開成中学・高校卒(ヨット部OB会)
横浜市立杉田小学校卒 岩崎学園磯子幼稚園卒 米カリフォルニア大学サンディエゴ校Web Publishingサティファイアード
【経歴等】外務委員会理事/政調副会長(民進党)/行政改革調査会長-国会対策委員長(維新の党)/横浜市議/記者-雑誌編集者/クリエイティブディレクター-ほか

議員立法数 NO.1 全ての議員 (190国会)
質疑時間 新人第1位 質問回数 (190国会)

190国会
三つ星国会議員
1988年全日本チャンピオン

長島一由 の政治・政策 基本方針

- 希望の政治** しがらみのない政治
徹底した情報公開/真の地方分権の確立
議員定数・議員報酬の削減
- 希望の社会** 女性政策などダイバーシティ社会の確立
多様な教育、働き方改革
- 希望の経済** 景気動向を見据えた消費税判断
実感できる景気回復の実現
雇用のミスマッチの解消
- 希望を守る環境** 原発ゼロとゼロエミッション社会への行程作成
市民の側に立つ環境保全
- 希望の憲法改正** 憲法9条の平和主義の理念をまもり、「知る権利」の明記による情報公開の推進
憲法93条・94条の改正で多様な地方自治の確立

私たちが、**希望の党** 神奈川1区 (中区・磯子区・金沢区)

しがらみのない政治を
実現します!!

7月30日の横浜市長選挙では、完全無所属ながら多くの皆様にご支援頂いたものの、次点となりました。しかし、既存の政治や既成政党への不信感の高まりを感じ、掲げた政策にも多くの方々から共感頂き、「ご期待に応えたい」という思いがさらに強くなりました。

今回、横浜市の中心部、神奈川1区で新党から公認を受け、衆院選への出馬を決意しました。しがらみのない政党・希望の党からの挑戦。ぜひとも、皆様の想いを私、長島一由に結集してください。

長島一由の政策はコチラ→ [長島一由](#) [検索](#)

Profile
元 衆議院議員
元 逗子市長
1967年生・50歳/元フジテレビ報道記者
元リクルート Works 誌編集長/映画監督
早稲田大学卒/東京大学大学院・東京藝術大学院修了/横浜国立大学博士課程修了

趣味 釣り、旅行
スポーツ ウィンドサーフィン (1988年全日本チャンピオン)
座右の銘 天才は有限だが努力は無限大

希望の党 公認
長島一由 50歳

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

立憲民主党公認 高橋のえ

◆プロフィール◆

1974年 東京都港区六本木生まれ。
 1993年 米国メリーランド州ウォルト・ホイットマン高校卒。
 1998年 九州大学法学部卒。
 2004年 立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科修了。米国の各大学などで各コースを修了。

◆職歴・活動歴◆

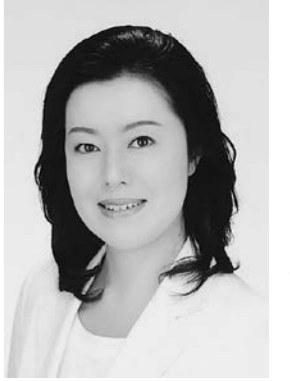
1998年 ㈱NTTドコモ入社 現在に至る。
 2007年 赤十字語学奉仕団入団 現在に至る。
 2009年 東京YWCA国際語学ボランティア登録 現在に至る。
 2010年 日本青年国際交流機構(IYEO)入会。
 (社)東京青年会議所入会。内閣府、国際赤十字社などの海外支援事業などで活躍。

政治の私物化、疑惑隠しを許さない
 政治を創り出して参ります。
神奈川2区だから出馬
安倍政権の番頭に挑戦!

地球に優しい環境エネルギーの確保
 原発ゼロへ、そして地球環境に優しい安全で持続可能なエネルギー源の確保に取組みます。

女性としてのリーダーシップを発揮
 人びとの声に耳を傾け、将来に安心できる社会の実現へ女性としてのリーダーシップを発揮して参ります。

政治改革のチャンス!
 共謀罪や安全保障法を強行し、政治を私物化して疑惑隠しの安倍一強の政治をやめさせましょう。



立憲民主党
高橋のえ
 43歳

さらに力強い未来へ

- アベノミクスを加速させる生産性革命の推進
- 女性も活躍でき、長時間労働は正の働き方改革
- 幼児教育無償化、給付型奨学金拡充、待機児童解消
- 「介護離職ゼロ」実現へ受け皿整備と待遇改善
- 観光先進国を実現するための大胆な資源の発掘
- ふるさと納税拡充など魅力ある地方創生の実現
- 岩盤規制を打ち破り、成長を加速する改革推進
- 防災を徹底して豪雨や地震から国民の安全を守る

北朝鮮の核・ミサイルの脅威 一万人の態勢で臨む

- ☆北の政策を変える国連安保理制裁の圧力
- ☆平和安全法制による日米同盟の抑止力強化
- ☆国民の安全を守る24時間の警戒監視態勢

プロフィール

1948年、秋田県生まれ
 法政大学
 横浜市議2期、衆議院7期
 総務大臣当時にふるさと納税を創設
 現在、内閣官房長官

趣味: 溪流釣り・ウォーキング
 アルコール: 全然ダメ
 座右の銘: 意志あれば道あり
 著書: 政治家の覚悟
 官僚を動かせ

数字で見る安倍政権の成果

経済再生・デフレ脱却

名目GDP	政権交代前 493兆円	安倍政権で 約543兆円
株価	前政権時 8,664円	20,628円 (10/5)
有効求人倍率	政権交代前 0.83倍	安倍政権で 1.52倍 (全都道府県で初めて1倍超え)
正社員求人倍率	政権交代前 0.50倍	安倍政権で 1.01倍 (初の1倍超え)
雇用	安倍政権で	約185万人増↑

●高卒・大卒就職内定率 過去最高水準
 ●最低賃金の上げ幅は安倍政権で過去最高

女性が活躍する社会の実現

女性の就業者数	安倍政権で約	152万人増↑
待機児童解消に向けて	安倍政権で約	60万人分の受け皿を今年度中に確保↑

2020年度には世界トップレベルの女性就業率80%にも対応

景気回復で財政健全化

国・地方税収合計	安倍政権で約	22兆円増↑
----------	--------	--------

観光立国が成長戦略の大きな柱

外国人旅行者	政権交代前 836万人	安倍政権で 2404万人
外国人旅行者の消費額	政権交代前 1兆849億円	安倍政権で 3兆7476億円

国民の大切な年金の運用益大幅増

公的年金運用益	安倍政権で約	46兆円増↑
企業年金運用益	安倍政権で約	29兆円増↑

国民の安全・安心を守り抜く
 政権発足以来、安倍総理と二三人脚で岩盤規制を打ち破り、この国を前に進めてきました。このように内閣官房長官の職務に専念できるのも、私を信じ、国政に送り続けていただいた皆様のおかげです。必ずやご期待にお応えし、魅力と活力にあふれる日本を創ってまいります。最優先で取り組んできた経済は、アベノミクスにより景気が着実に回復し、雇用は大幅に増加しています。弱い立場の人にはしっかりと手を差し伸べて、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。戦後最大の脅威とも言える北朝鮮の核・ミサイルから、日米同盟を基軸に断固として国民の安全・安心を守り抜きます。



自民党公認 神奈川2区
すが
 よしひで

希望の党

守るべきものはしっかり守る。変えるべきものは大胆に変える。

はしもと久美 プロフィール

1969年東京生まれ 元豊島区議会議員
 日本大学芸術学部美術学科卒
 東京学芸大学大学院教育学研究科修了(教育学修士)
 不登校児童生徒の教育相談員や公立学校のスクールカウンセラー
 元国立成育医療研究センター臨床心理療法士
 専門学校講師 会社役員

一児の母。母子の相談援助職を20年間現場で行ってきた。
 子育て世代やシニアの方々も安心して暮らせて元氣よく働ける社会と、本当に困っている人を皆で助けていけるコミュニティを表現していきます。

日本に希望を。希望の党⑨の公約

- 公約01 消費税増税凍結 景気回復を確実にするため、2年後の消費税増税を凍結します。
- 公約02 議員定数・議員報酬の削減 国会議員みずから身を切る改革を断行し、「しがらみ政治」から脱却します。
- 公約03 ポスト・アベノミクスの経済政策 徹底した規制改革と特区を最大活用し、民間の活力を生かした経済活性化を図ります。

- 公約04 原発ゼロへ 「2030年までに原発ゼロ」を目指します。徹底した省エネで、エコ社会に変えていきます。
- 公約05 雇用・教育・福祉の充実 正社員で働ける、結婚できる、子どもを育てられる社会。そこに少子化問題解決の力があります。
- 公約06 ダイバーシティ社会の実現 すべての人が輝ける社会をめざします。特に、女性、シニアの力をさらに生かします。
- 公約07 地域の活力と競争力の強化 現場に任せれば元気になる。道州制を導入し、地域が自分で決めればムダもなくなる。
- 公約08 憲法改正 憲法9条をふくめ憲法改正論議をすすめます。国民の知る権利、地方自治の分権を明記します。
- 公約09 危機管理の徹底 外交安全保障はもとより自然災害対策も強化し、国民の生命と主権を守る万全の備えを整えます。



希望の党公認
はしもと久美
 くみ
 48歳

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

野党と市民の共同で新しい政治をつくる 政治退場を 共産党躍進で安倍暴走を



日本共産党
おおぬき 清文
大貫きよふみ

命を大切に政治をつくりたい。二度と戦争はしない。命を大切に政治を実現したい。「私たちは、何物にも代えがたい命の尊さを知っています。だれの子とも殺させない」と安保法制に反対したママ。わずかな年金で食事も冷房も医者も切り詰める高齢者。突然、「契約終了」と解雇された派遣労働者が「社会がおかしい」と訴えるのを忘れることはできません。
私は、新聞記者として現場でつかんできた声をつきつけて、市民と野党の共同で、民意を踏みつけにし、憲法を壊す安倍政治を終わらせ、希望のもと新しい政治に変えます。

「森友・加計学園疑惑」の徹底説明
安倍首相夫妻がかかわる「森友・加計学園疑惑」と国政の私物化。世論調査では国民の7割が首相の説明に「納得できない」と答えています。真相究明にフタをすることは許されません。

消費税10%は中止
増税するなら「アベノミクス」で大儲けをあげている富裕層と大企業に自分の負担を求めます。大軍拡と大型開発中心の予算にメスを入れ、医療、介護など社会保障、教育、子育てなど、格差と貧困の是正につながる予算を増やします。中小企業と農業を守ります。

8時間働けばふつうに暮らせる社会を
「残業ゼロ法案」を許さず、長時間労働を法律で規制し、過労死を根絶。非正規から正規への流れをつくり、最低賃金を大幅に上げます。

北朝鮮の核開発とミサイル発射の暴挙は絶対に許せません。偶発による戦争を絶対に起こしてはなりません。経済制裁強化と一体に「対話による平和的解決」は世界の流れ。日本政府は圧力一辺倒ではなく、「対話による平和的解決」のイニシアチブを発揮するべきです。

北朝鮮の無法に抗議、経済制裁と一体の「対話による平和的解決」を

●核兵器禁止条約に参加する政府を唯一の被爆国・日本政府は、いまこそ核兵器禁止条約に参加することです。核兵器廃絶の先頭に立つてこそ、核保有国に核兵器禁止を求めることができます。

原発再稼働をやめ 原発ゼロの日本へ

日本共産党を伸ばし安保法制廃止、憲法守る政治へ

「海外で戦争する国」にする
憲法9条改憲は「ノー」
安倍政権が強化した安保法制、秘密保護法、共謀罪は、すべてが海外で戦争する国づくりの道具立て。三つの違憲立法は廃止し、民主主義と立憲主義の回復を。世界に誇る日本の宝、憲法9条を守り、平和外交をすすめます。

比例代表は日本共産党と書き
ください

投票日 10月22日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

投票は18歳からできます。

◎衆議院小選挙区選出議員選挙

投票用紙(ピンク色)には、候補者1人の氏名を記入します。

◎衆議院比例代表選出議員選挙

投票用紙(あさぎ色)には、名簿届出政党等の名称を1つ記入します。

◎最高裁判所裁判官国民審査

投票用紙(うぐいす色)には、やめさせた方がよいと思う裁判官については、氏名の上の欄に×を書きます。

やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないください。

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

希望の党
かつまた
恒一郎
こういちろう

まもるべきものはしっかり守る。 かえるべきものは大胆に変える。

公約1

消費税増税凍結

景気回復を確実にするため、2年後の消費税増税を凍結します。

消費税 8% 増税 10%

プロフィール
1962年12月11日生まれ
横浜国立大学大学院修了
元 銀行員
(財)松下政経塾第8期生
神奈川県議会議員(3期)
2009年衆議院議員
大学講師、政党役員

公約2

議員定数・議員報酬の削減

国会議員みずから身を切る改革を断行し、「しがらみ政治」から脱却します。



公約3

原発ゼロへ

「2030年までに原発ゼロ」を目指します。徹底した省エネで、エコ社会に変えていきます。



公約4

雇用・教育・福祉の充実

正社員で働ける、結婚できる、子どもを育てられる社会。そこに少子化問題解決のカギがあります。

公約5

ユリノミクスの経済政策の推進

徹底した規制改革の推進。大企業の内部留保に課税。パーシ픽インカムの導入。

公約6

地域の活力と競争力の強化

現場に任せれば元気になる。道州制を導入し、地域が自分で決めればムダもなくなる。

公約7

すべての人が輝ける社会の実現

すべての人が輝ける社会をめざします。特に女性、シニアの力をさらに生かします。

公約8

危機管理の徹底

外交安全保障はもとより自然災害対策も強化し、国民の生命と主権を守る万全の備えを整えます。

公約9

憲法改正

地方自治の強化、首相の解散権の制限など、幅広く議論していきます。

しがらみのない政治

推薦人

希望の党代表 **小池百合子**



希望の党公認
かつまた
恒一郎

グッバイ、バラマキ。 清潔で、勇断できる政治を。

嘘と打算に満ちた安倍首相の突然の解散と、野党の離合集散。北朝鮮危機や長引く経済停滞という内憂外患の緊急時に何をしているのでしょうか。北朝鮮有事に備え、いち早く「自分の国は自分で守る」体制を築かねばなりません。財政赤字が1100兆円に膨らんでいるにもかかわらず、増税して教育無償化というバラマキ政策を行おうとしています。日本経済は瀕死の状態になるでしょう。

私、いき愛子は実効性のある政策を提言し、日本の未来を確実に築いてまいります。「努力する人が報われる社会」を創ります。可能性はここにある！新しい選択、「いき愛子」。

〈神奈川3区の皆様に尊敬と感謝を込めて、32歳の若い力で全力疾走します！〉

比例は「幸福」

タフなレディが日本を変える 日本まるごとイキイキさせたい！ いき愛子3つの繁栄プラン

国防

「自分の国は、自分で守る」北朝鮮危機への万全の措置を！

- ▶ 防衛費倍増による防衛装備の充実・強化
- ▶ 非核三原則の見直し、米国による核抑止力の強化
- ▶ 核シェルターの設置推進で、災害に強いまちづくり

経済

暮らしを豊かに、企業を元気に！消費税8%→5%！～減税こそ最大の福祉～

- ▶ 大胆な減税、消費税5%、法人税10%台へ引き下げ
- ▶ 徹底的な規制緩和
- ▶ 賃金引き上げ要請など政府の民間介入を防ぎ、自由な経済活動を

人財

魅力ある街 横浜づくりに邁進！

- ▶ 教育の無償化より質を重視し、公教育の学力向上を推進
- ▶ 女性の活躍の場を増やし、多様な生き方を応援
- ▶ 生きがいを持って働き続ける「生涯現役社会」の実現



@ikiaiko



いき愛子PROFILE 32歳

【いき愛子公式サイト】 <http://iki-aiko.net/>

1985年9月14日生まれ
(当時母の勤める聖路加病院で生まれる)
神奈川県川崎市出身
川崎市立金程中学校卒業
東京農業大学第一高等学校卒業

多摩大学経営情報学部経営情報学科卒業
リコージャパン株式会社営業職(5年)
HS政経塾第4期生
2016年参院選神奈川県選挙区より全国最年少で出馬
2017年神奈川3区選挙区支部長に就任

神奈川から新しい教育を考える会代表
不登校児支援スクール「ネバー・マインド」相談員
NPO障害者社会福祉支援会会員
鶴見消防団(五分団) 横浜市鶴見区在住



幸福実現党公認
いき
愛子

動かすのは、あなたとわたし つなぐみんなの力、まもる命



立憲民主党 すいせん
伊藤くみこ

まっとうな政治。

- ノーモアヒロシマ・ナガサキ
- 核兵器の廃絶!
- 原発ゼロに全力!
- 消費税増税反対!



伊藤くみこ経歴

豊島岡女子学園高校、跡見学園短期大学卒業、新和海運株式会社、日本IBM株式会社、平田国際特許事務所、通所介護施設管理者 元神奈川県議会議員

多くの方が感じている日本社会への危機感、政治に対する怒り。説明責任は？見えないところで何が人が踏みに行われている気がする。こんな政治の中で、子育てや介護、人を大切に育てる政策は語れますか？と私は言いたい。守らなくてはならないもの。子どもたちの未来、人の命や生活。今の政治を変えるために皆さんの力が必要なんです！

私は、子どもを育てながら会社員として働く中でとても不安に感じる社会状況を「何とかしたい！」という思いから、神奈川県議会議員になり「市民」としての視点を持ち続け、現場に足を運び自分の目で確かめ活動し、がん対策等医療・福祉・教育を中心に全力で取り組んできました。その後、介護政策を学ぶために、ヘルパー2級の資格を取得し、介護現場を全身で体験しました。

生活に密着した課題から、経済、医療、福祉、環境、外交、防衛など多くの課題が山積しています。「思いやりや優しさを忘れず、人と人とのつながりを大切に、心豊かに暮らせる社会」を築くために信念をもって国政に邁進してまいります。

子育て経験、政治に投入!
愛しい命が存在する幸せをわすれないでほしい。

多様化する女性の生き方を支援し、すべてのママ、パパが愛情いっぱいの子育て、心の教育を大切にできる社会環境をみさします。

医療と介護のキーワードは予防!
がん対策等、様々な医療課題に取り組み、「病気になる前」「要介護にならない」ために正しい医療情報を発信し予防医療、予防介護を推進していきます。

私たちが目指して 立憲民主党代表 枝野幸男
おられます。 立憲民主党幹事長 福山哲郎

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

野党と市民の共同で新しい政治をつくる 共産党躍進で安倍暴走政治退場を



日本共産党

くみまる 進

釘丸 すずむ

「改憲勢力2/3」打破
「政権のおごり」に審判を

臨時国会冒頭の解散は、森友・加計疑惑隠しであり、国政の私物化の最たるものです。この総選挙は安倍暴走政治を終わらせるチャンスです。政権の疑惑に口を閉ざす一方で、安保法制、共謀罪法を強行し、北朝鮮問題でも対話を否定する安倍政権が次に狙うのは、憲法を変えて戦争ができる日本にすることです。

私は、野党と市民の共同で、安倍政権と改憲勢力3分の2体制を打ち破り、戦争する国づくり、トップに全力を尽くします。

党3区 国政対策委員長

1973年厚木市生まれ。東海大学政治経済学部経済学科卒業。新日本空調株式会社勤務を経て党横浜北東地区委員会勤務。現在、党県委員、党横浜北東地区委員長。2012年衆議院神奈川8区に立候補。趣味は読書。横浜市鶴見区在住。

「森友・加計学園疑惑」の徹底説明

安倍首相夫妻がかかわる「森友・加計学園疑惑」と国政の私物化。世論調査では国民の7割が首相の説明に「納得できない」と答えています。真相究明にフタをすることは許されません。

消費税10%は中止

増税するならば「アベノミクス」で大儲けをあげている富裕層と大企業に自分の負担を求めます。大軍拡と大型開発中心の予算にメスを入れ、医療、介護など社会保障、教育、子育てなど、格差と貧困の是正につながる予算を増やします。中小企業と農業を守ります。

8時間働けばふつうに暮らせる社会を

「残業ゼロ法案」を許さず、長時間労働を法律で規制し、過労死を根絶。非正規から正規への流れをつくり、最低賃金を大幅に上げます。

北朝鮮の核開発とミサイル発射の暴挙は絶対に許せません。偶発による戦争を絶対に起こしてはなりません。経済制裁強化と一体に「対話による平和的解決」は世界の流れ。日本政府は圧力一辺倒ではなく、「対話による平和的解決」のイニシアチブを発揮するべきです。

北朝鮮の無法に抗議、経済制裁と一体の「対話による平和的解決」を

●核兵器禁止条約に参加する政府を唯一の被爆国・日本政府は、いまこそ核兵器禁止条約に参加することです。核兵器廃絶の先頭に立つてこそ、核保有国に核兵器禁止を求めることができます。

原発再稼働をやめ 原発ゼロの日本へ

日本共産党を伸ばし安保法制廃止、憲法守る政治へ

比例代表は日本共産党と書き

海外で戦争する国にする
憲法9条改憲は「ノー」にする
安倍政権が強行した安保法制、秘密保護法、共謀罪は、すべてが海外で戦争する国づくりの道具立て。三つの違憲立法は廃止し、民主主義と立憲主義の回復を世界に誇る日本の憲法9条を守り、平和外交をすすめます。

国家公安委員長・防災担当大臣・自民党神奈川県連会長

おごのぎ八郎

安心と安定の政治が、この難局を突破する



自民党公認

おごのぎ 八郎

52歳

初入閣、危機管理に全力

国民の生命と平和な暮らしを守りつらりと守る為、危機管理に万全を尽くします。

北朝鮮問題、断固たる対応を

北朝鮮の暴走を止めるため、日本は平和国家として国際社会と団結し、圧力を一層強化するなど断固たる対応を臨みます。

国家公安委員長として

政府の治安対策の責任者として、テロ対策の強化から日常生活の安心安全まで、「世界一安全な国、日本」を実現します。

防災担当大臣として

日本は自然災害の多い国です。一日も早い復旧復興をさらに進め、首都直下地震など今後心配される大きな災害への備えをしっかりと進めます。

暮らしの不安を解消

引き続き経済が最優先

地元横浜を始め日本がもっと元気になるように、雇用の増加や賃上げなど、引き続きあらゆる政策を総動員します。

全ての世代に安心の社会保障を

消費税収の使い道を見直し、子育て支援から高齢者支援まで、全ての世代を対象とした社会保障を進めます。若い子育て世代の負担軽減や「介護離職ゼロ」を目指します。

人づくりは国づくり

日本の将来を担う人材の育成が不可欠です。質の高い教育はもちろん、広くバランスの取れた教育改革を進めて参ります。

数字で見るアベノミクスの成果

安倍内閣の5年間

名目	(内閣発足時)	(過去最大)
GDP	493兆円	543兆円
有効求人倍率	0.83倍	史上初全国で1倍超
株価	8,664円	(2017.9.28) 20,363円
外国人旅行者数	830万人	(5年で約3倍) 2,403万人

<プロフィール>

昭和40年横浜生まれ。平成5年衆議院初当選。現在当選7期。文部政務次官、経済産業副大臣、自民党国会対策委員長代理を経て平成29年初入閣。国家公安委員長、防災担当大臣、国土強靱化担当大臣に就任。現在自民党神奈川県連会長

投票日 10月22日(日) 投票時間 午前7時から午後8時まで

投票は18歳からできます。

◎衆議院小選挙区選出議員選挙

投票用紙(ピンク色)には、候補者1人の氏名を記入します。

◎衆議院比例代表選出議員選挙

投票用紙(あさぎ色)には、名簿届出政党等の名称を1つ記入します。

◎最高裁判所裁判官国民審査

投票用紙(うぐいす色)には、やめさせた方がよいと思う裁判官については、氏名の上の欄に×を書きます。やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないでください。

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

アベ政権で生活が楽になったでしょうか？
私は皆さんの家計を豊かにするために、税金の使い道を変えていきたい。
そして私は2人の子どもの母親として、戦争に行かせたくない。
だから平和憲法を守ります。
だれも排除しない、みんなで支え合う共生社会をめざして、私は頑張ります。

早稲田ゆき

リベラル結集!!

ブレないワセダ!!

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan



衆議院議員候補
わ
せ
だ
早稲田ゆき

- 平和** 憲法を生かした政治 安保法制の廃止
- エネルギー** 原発ゼロ2030年代 自然エネルギーへのシフト
- 税金** 消費税増税の凍結 中小企業を守る税制改正
- 生活** 最低年金の保障 介護・医療費の負担軽減
- 教育** 保育園・幼稚園から 高校までの無償化 給付型奨学金制度の創設
- 労働** 正規雇用の促進 男女の賃金格差是正
- 共生** 排除しない共生社会 多様性を認める社会

早稲田ゆき(夕季)プロフィール
1958(昭和33)年12月6日生まれ
白百合学園高等学校卒業
早稲田大学法学部卒業
日本輸出入銀行
鎌倉市議会議員(2回)
神奈川県議会議員(2回)



希望の党

守るべきものはしっかり守る。変えるべきものは大胆に変える。

風間法子プロフィール

神奈川県横浜市出身
横浜国立大学大学院卒
(株)情報通信総合研究所
金融庁、その他民間企業複数を通じて官民双方を経験。
(公)松下政経塾で培ったビジネス経営感覚と共に、ビジネス感覚を導入して政治を日本を変える!

- 趣味** 読書、楽器演奏、旅行、人間ウォッチング
- 座右の銘** 「大切なことは目に見えないんだよ」
- 尊敬する人** 松下幸之助、マーガレット・サッチャー

日本に希望を。

希望の党⑨の公約

- 公約01 消費税増税凍結** 景気回復を確実にするため、2年後の消費税増税を凍結します。
- 公約02 議員定数・議員報酬の削減** 国会議員みずから身を切る改革を断行し、「しがらみ政治」から脱却します。
- 公約03 ポスト・アベノミクスの経済政策** 徹底した規制改革と特区を最大活用し、民間の活力を生かした経済活性化を図ります。
- 公約04 原発ゼロへ** 「2030年までに原発ゼロ」を目指します。徹底した省エネで、エコ社会に変えていきます。
- 公約05 雇用・教育・福祉の充実** 正社員で働ける、結婚できる、子どもを育てられる社会。そこに少子化問題解決のカギがあります。
- 公約06 ダイバーシティ社会の実現** すべての人が輝ける社会をめざします。特に、女性、シニアの力をさらに生かします。
- 公約07 地域の活力と競争力の強化** 現場に任せれば元気になる。道州制を導入し、地域が自分で決めればムダもなくなる。
- 公約08 憲法改正** 憲法9条をふくめ憲法改正論議をすすめます。国民の知る権利、地方自治の分権を明記します。
- 公約09 危機管理の徹底** 外交安全保障はもとより自然災害対策も強化し、国民の生命と主権を守る万全の備えを整えます。



希望の党公認
か
ざ
ま
風間法子
の
り
こ
47歳

The改革。私たちは進み続けます。

今回は「人でも選ぶ選挙！」
しっかりと選んだ人を国会へ。

- ⑧ 憲法議論** 9条の議論のみならず、衆参両院の機能分担など、様々な視点から改正を考える
- ⑦ 原子力発電政策** ゼロか否かではなく、工程表を示しながら現在の廃炉基準に従って将来的にゼロを達成
- ⑥ 教育問題** GDPに占める公的教育支出を欧米並みに拡充することで教育格差の是正
- ⑤ 少子高齢化対策** 合計特殊出生率を1.8にまで引き上げるための政策を総動員
中核都市を整備。働く場所と育てる場所をコンパクトにまとめ、充実化
- ④ 経済政策** 投資を喚起する自由償却制度、転廃業資金の支援で経済の新陳代謝を図る
生産性向上政策を集中的に投下。短期的には最低賃金の引き上げ、中長期的には最先端技術や基礎科学への投資
- ③ 政党交付金** 総額で14億円を超える政党交付金を史上初めて国庫に返還
▼ 解党・分党における政党交付金の扱いを透明化・厳格化を提案
- ② 行財政改革と財政再建** ▼ 公務員の「有給」休時間の廃止
▼ 公務員の給与体系是正を提案
▼ 歳入庁の設置で、毎年10兆円に迫る社会保障料の徴収漏れ解消を提案
- ① 北朝鮮関係** ▼ 1999年、山本一太参議院議員と共に「月刊文藝春秋」へ共同寄稿
送金停止を実現させる外為法改正案を実現
▼ 策源地攻撃論に関わる憲法解釈について、多くの与野党が共有できる国会答弁を、民主党政権、自民党政権双方から引き出す

プロフィール
昭和39年2月11日生まれ
栄光学園高校、東京大学法学部卒業
日本興業銀行出身、証券アナリスト
米スタンフォード大学経営大学院(MBA)修了

平成10年、16年参議院議員選挙当選(2期)
平成21年、衆議院議員選挙初当選
平成24年、衆議院議員選挙当選
平成26年、衆議院議員選挙当選(3期目)



あ
さ
お
あさお慶一郎
け
い
い
ち
ら
う

平成29年10月22日執行

神奈川県第4区選挙区(横浜市栄区、鎌倉市、逗子市、三浦郡)

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

若きサムライ この国を守る!



自民党公認
山本ともひろ
42歳

衆議院議員3期9年 防衛副大臣
内閣府副大臣

政権公約

国民の命と平和な暮らしを守る

核実験、弾道ミサイルの発射を繰り返す北朝鮮。自衛隊による24時間365日の警戒監視により、国民の命と平和な暮らしを守り抜きます。国際社会と連携し、北朝鮮に最大限の圧力をかけていきます。

人々の命と暮らしを守る

幼児教育の無償化、高等教育の無償化を実現します。また、待機児童解消にも取り組みます。介護人材を確保し、介護の受け皿不足解消に取り組みます。人生100年時代を見据え、学び直しと新しいチャレンジの機会を抜本的に拡充します。

生産性革命

最先端イノベーションによる生産性革命を次なる成長戦略の柱とし、中小・小規模事業も含め、企業の設備投資を力強く促す施策を総動員します。生産性を押し上げてテラレ脱却のスピードを加速し、4年連続資金アップの流れを力強く持続させます。

圧倒的な行動力

議員立法「休眠預金活用法」成立
毎年、約1000億円も発生し、今までは銀行や金融機関の利益となっていた休眠預金を困っている人たちの支援組織などに活用できるように法案をゼロから作り上げ、議員立法で成立させました。これからは、手助けを求めている人たちとその支援組織に休眠預金を活用することが出来るようになります。

災害対策にも経験を生かし迅速に対応
鎌倉で下水管が破損。汚水を海に放流せざるを得なくなり、それを防ぐために仮設のパイプを設置しましたが、当初はパイプ数が足りず海への放流を止められませんでした。しかし、直ぐに国交省に指示し、全国からパイプを調達、パイプを倍にして放流を止めることが出来ました。

文化財の維持・保護にも全力
県立近代美術館鎌倉館や御成小学校旧講堂、北鎌倉の緑の洞門など貴重な地元の財産を維持、保護のために文化庁と協議、国からは予算の確保、市民生活に影響が懸念されるとJR東日本と協議し北鎌倉駅に仮設の改札口を確保するなど奔走しました。

東京オリンピックの競技会場の誘致
鎌倉、逗子、葉山の素晴らしい海を2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会で活用できないかとの多くの声を頂き、初代オリンピック・パラリンピック大臣政務官として誘致活動に尽力。セーリング会場が江ノ島に決まりました。

■プロフィール
昭和50年(1975年)生まれ 42歳 鎌倉在住 ●関西大学 商学部 商学科 卒業 ●京都大学 大学院 法学研究科(行政学)修士課程 修了 ●(財)松下政経塾 卒塾(21期) ●米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て ●平成17年(2005年)衆院選 初当選 ●文部科学大臣政務官・復興大臣政務官・初代オリンピック・パラリンピック大臣政務官などを歴任

私たちも山本ともひろ君を応援しています。
内閣総理大臣 **安倍晋三**
内閣官房長官 **菅義偉**
防衛大臣 **小野寺五典**
筆頭副幹事長 **小泉進次郎**



ホームページのぼれぼれ通信とブログも是非見て下さい。山本の日頃の活動や考えていることが良くわかります。
[山本ともひろ](#)

投票日 10月22日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

投票は18歳からできます。

◎衆議院小選挙区選出議員選挙

投票用紙(ピンク色)には、候補者1人の氏名を記入します。

◎衆議院比例代表選出議員選挙

投票用紙(あさぎ色)には、名簿届出政党等の名称を1つ記入します。

◎最高裁判所裁判官国民審査

投票用紙(うぐいす色)には、やめさせた方がよいと思う裁判官については、氏名の上の欄に×を書きます。

やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないください。

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会



総務副大臣兼内閣府副大臣
さかい学
自由民主党

大切なものは、実現すること。

アベノミクスの「三本の矢」そして「新三本の矢」政策が目指しているもの、それは日本最大の課題である人口減少、少子高齢社会への対応です。コンパクトシティというまちづくりの方針を示し、医療介護の改革を通じて持続性を担保しながら、労働力不足を補うICT技術などの活用で一人ひとりの生産性向上「生産性革命」を図る。活躍するチャンスと場を増やす。私たちは日本の課題に正面から立ち向かい、この「人づくり革命」を通じて、これまで以上の実現力で答えを出します。ひたすらに、平和で豊かな日本のために。次世代のために。

この国を、守り抜く。

日本の活力ある経済を守り抜く

- ICT技術を生かし、一人当たりの生産性を上げて、人手不足に対応する生産性革命の推進
- 観光立国をはじめとする成長戦略の強力なる推進
- 引き続き雇用を確保し、給与アップにつなげ、安心して消費できる「正の連鎖」を目指す
- IoT、ビッグデータ、AIなどの技術を組み合わせて、新しい付加価値を生み出し、今後の成長産業へと育成
- 都市農業の推進と地域の交流にもつながる地産地消の奨励

日本の安全・安心を守り抜く

- 北朝鮮の核・ミサイルの脅威に対して、国際社会と連携して北朝鮮の政策転換を迫る
- 日米同盟の下、抑止力を強化するとともに、24時間警戒監視体制を継続
- 自然災害時の人的被害ゼロを目指し、ハード整備とともに、情報伝達・避難方法など、ソフト面の整備を急ぐ
- 国際社会において、格段に上がった日本への信頼度・存在感と総理の発言力を活用し、国益の最大化を図る
- 日本が直面している困難や課題に鑑み、現代の実情に合った憲法へ

日本の豊かな生活を守り抜く

- 少子高齢社会・人口減少社会の到来という日本の社会を襲う構造変化に対応する医療・介護などの社会保障システムへ改善
- 多様な生き方、生活環境に合わせて、男性も女性も選択の幅が広がる働き方改革の推進
- 社会資本の老朽化に対応し、維持管理の徹底と確実な更新
- ふるさと納税拡充、ICT技術の活用外国人観光客の誘導をはじめ、地方へのチャンスを提供し、自らの地方創生を支援

日本の伝統・文化を次世代につなげ、「落とした財布が戻ってくる」国であり続ける教育を推進



さかい(坂井)学 プロフィール

昭和40年9月4日生まれ
▶リトルから大学卒業まで野球漬けの日々
▶東京大学法学部卒
▶松下政経塾(10期生)時代に、熊本県などで地域づくり活動
▶政経塾卒業後、熊本県で土壌浄化法による汚水処理を目指す会社で働きながら、自然農を実践
▶東日本大震災直後に復興支援グループ「ゆいっこ横浜」を立ち上げ、地元仲間たちと募金や炊き出し、物資提供などの活動。
▶衆議院議員3期

- 国土交通・復興大臣政務官として東北の復興を推進。
- 外国人観光客誘致のため、ビザ緩和や免税制度の改正により、観光地での消費増に貢献
- 民間の公益活動を支援するため、議員立法で休暇預金活用法案を成立。
- 総務副大臣として官製はがきを国際郵便で使いやすくするため、8円切手を来年の「国際文通週間」に合わせて発売予定。
- 内閣府副大臣として、マイナンバーカード取得促進キャンペーンをこの11月より開始。

元 財務副大臣
元 国土交通大臣政務官 兼 復興大臣政務官
元 国土交通部長
平成23,24年度 横浜市立豊田中学校PTA会長
家族は妻と娘3人。趣味は野菜づくり。
好きな言葉は「雑魚は雑魚なり大海を泳ぐ」。

www.sakaimanabu.com

野党と市民の共同で新しい政治をつくる

「戦争する国づくり」NO
8時間働けば普通に暮らせる社会を
8月に参加した原水爆禁止世界大会で、被爆者は国連で核兵器禁止条約が採択されたことを喜び、日本政府が条約に参加しないことに怒っています。「戦争があつたから核兵器が使われた。戦争をしない日本をつくって」と訴える被爆者の思いにふれ、核兵器禁止条約に参加する政治の実現へ決意をあらたにしました。

野党と市民の共同で力をこめて、憲法、くらし、雇用を壊す安倍政権の暴走政治にストップをかけ、憲法を生かす新しい政治の実現と、核も基地もない平和な日本をつくりまします。

「森友・加計学園疑惑」の徹底解明
安倍首相夫妻がかかわる「森友・加計学園疑惑」と国政の私物化。世論調査では国民の7割が首相の説明に「納得できない」と答えています。真相究明にフタをすることは許されません。

消費税10%は中止
増税するならば「アベノミクス」で大儲けをあげている富裕層と大企業に自分の負担を求めます。大軍拡と大型開発中心の予算にメスを入れ、医療、介護など社会保障、教育、子育てなど、格差と貧困の是正につながる予算を増やします。中小企業と農業を守ります。

8時間働けばふつうに暮らせる社会を
「残業代ゼロ法案」を許さず、長時間労働を法律で規制し、過労死を根絶。非正規から正規への流れをつくり、最低賃金を大幅に上げます。

海外で戦争する国にする
憲法9条改憲は「NO」
安倍政権が推し進めた安保法制、秘密保護法、共謀罪は、すべてが「海外で戦争する国づくり」の道具立て。三つの違憲立法は廃止し、民主主義と立憲主義の回復を世界に誇る日本の憲法9条を守り、平和外交をすすめます。

北朝鮮の核開発とミサイル発射の暴挙は絶対に許せません。偶発による戦争を絶対に起こしてはなりません。経済制裁強化と一体に「対話による平和的解決」は世界の流れ。日本政府は圧力一辺倒ではなく、「対話による平和的解決」のイニシアチブを発揮するべきです。

北朝鮮の無法に抗議、経済制裁と一体の「対話による平和的解決」を
●核兵器禁止条約に参加する政府を唯一の被爆国・日本政府は、いまこそ核兵器禁止条約に参加することです。核兵器廃絶の先頭に立つてこそ、核保有国に核兵器禁止を求めることができます。

原発再稼働をやめ
原発ゼロの日本へ

日本共産党を伸ばし安保法制廃止、憲法守る政治へ



日本共産党
横山せいいち
よこやま せいいち

党5区 区政対策委員長
略歴 1971年横浜市生まれ。東京工業専門学校卒業。平和の日本をめざす日本共産党に共感し18歳で入党。現在、党県委員、党横浜西南地区副委員長。趣味は読書、ドライブ、サイクリング、スキー、キャンプ。横浜市戸塚区在住。

吉岡けんじの想い
私には5歳の息子と1歳の娘がいます。夜、仕事から帰宅して子供達の寝顔を見ていると、この幸せがいつまでも続いて欲しいな、と思います。今年も長男の運動会に行きました。私の両親、妻の両親も駆けつけました。親たちは孫の成長を見るのが生き甲斐のようです。こうした「平凡な幸せ」を守っていききたい。そして、子供たちには夢をもってもらいたい、親たちには人生をもっと楽しんでもらいたい。若者たちには努力してチャンスを掴んで欲しいと思います。そして、失敗してもまた挑戦できる寛容な社会、まさに「希望」のある社会にしたいのです。

一人一人が「希望」に満ち溢れた社会へ

吉岡けんじの考え方

- 1 景気回復と消費増税凍結**
景気回復の実感が伴わない中で増税には慎重にならざるを得ません。2019年10月に予定されている消費税10%引き上げについてはいったん凍結し、実体経済の動向を注視すべきと考えます。財政規律を維持するために赤字国債の発行は限定的とし、むしろ成長戦略に注力し、税収増を実現させます。
- 2 共働きの応援(待機児童対策)**
私は二児(長男5歳・長女1歳)の父親です。仕事をもっていた妻とともに過酷なホカッ(子どもを保育所に入れるために保護者が行う活動)も経験しました。待機児童、保育児童問題は国家ぐるみの取り組みを行うべきです。また、企業に対して在宅ワークなどを推奨し、「働くこと」と「育てること」の両立を実現させます。
- 3 税の有効活用(ワイクスベンディング)**
税の無駄遣いを絶対に許しません。成長分野、福祉分野、教育分野など「納得できる」税金の使い方を追求します。
- 4 しがらみからの脱却**
特定の団体だけが利益を得る、いわゆる「既得権益」は許しません。すべての国民の利益を最大化する行政改革、規制緩和に取り組みます。
- 5 スポーツで人生を豊かに**
吉岡けんじは「スポーツ(ラグビー)」に育てられた人間です。2019年ラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック、パラリンピックが成功を収めるために全力を尽くします。また、子供からお年寄りまで楽しめる生涯スポーツの普及にも取り組んでまいります。
- 6 憲法改正**
103ある条文を一つ一つ精査していく必要性があります。中には時代に則していないものもあり、そうしたものを是非々々で改正していくべきと考えています。例えば、プライバシー権や知る権利なども基本的な人権として規定されていないのも時代に則しているとは言えません。道州制や有事の際の議員任期の延長等も盛り込むべきです。
- 7 徹底した情報公開と行政監視**
元報道記者である吉岡けんじは、密室政治、隠れい体質を看過するわけにはいきません。国民の知る権利を守り、行政の監視役としての政治家の本分を全うします。
- 8 インターティブな日本へ**
日本版シリコンバレーの建設を目指し、ベンチャー企業の育成や起業を積極的に後押しします。日本から世界に通用する多くの企業を生み出していきます。同時に優遇税制を敷き、インフラを整備して外国企業の誘致や海外からの投資を促し、「強いニッポン」を復活させます。

プロフィール
■神奈川県出身(父が日立製作所に勤めていた関係で、幼少時代は戸塚の自宅で過ごす)
■神奈川県立大船高等学校卒業 ■青山学院大学経営学部卒業(体育会ラグビー部副将)
■英国国立ランバラ大学大学院卒業(国際政治学修士号取得)
■留学中にブリュッセルのEU本部インターンシッププログラムに参加
■修士論文「トルコによるEU加盟の可能性と影響について」
■民放テレビ局報道部(記者職)、投資ファンドなどを経て現在、コンサルティング会社取締役。

吉岡けんじホームページ
yoshiokakenji.com

39歳



希望の党公認 小池百合子政治塾一期生
吉岡けんじ
よしか けんじ

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

立憲民主党 暮らしの安心 未来への責任 一強政治に対抗する力を結集する



立憲民主党
あおやぎ 陽一郎
あおやぎ よういちろう

あおやぎ 陽一郎 よういちろう

地元出身 働き盛り48歳

- ◆衆議院議員2期
- ◆昭和44年8月29日生まれ(48歳)
- ◆横浜市立常盤台小学校、保土ヶ谷中学校卒業
- ◆日大高校、日本大学法学部卒業
- ◆早稲田大学大学院公共経営研究科修了
- ◆元国務大臣政策秘書
- ◆2020年東京オリンピック・パラリンピック顧問会議顧問

Facebook ページ www.facebook.com/aoyagy.net

Twitter アカウント @aoyagy (AOYAGI YOICHIRO)

メールでのお問い合わせ info@aoyagy.net

ホームページ <http://aoyagy.net>

- 1 増税の前にやるべきことがある！消費税10%凍結**
ふつうの人が豊かさを実感できる経済へ
議員自ら身を切る改革を！
政治と行政の信頼回復
- 2 暮らしの安心をつくる経済政策**
大企業、資産家優先のアベノミクスは効果が限定的。格差の解消につながる経済政策へ！
教育・子育て・医療・介護など、家庭に必要なサービスを直接給付
テレワークや企業内保育の導入など働き方の多様化を促進し、職住近接の実現で世帯年収増へ！
- 3 「地方創生」も地域が決める！中央集権体制を打破**
補完性原理で地方自治を運営
- 4 原発は市場メカニズムにより将来ゼロ**
2030年代原発稼働ゼロを実現
小規模分散電源や自然エネルギーへのシフト
住宅の断熱性能向上を図り、省エネを実現
- 5 国際情勢の変化に心づく日本の防衛に万全を期す**
「近くは現実的に、遠くは抑制的に、国際貢献は積極的」
核・ミサイル・領域侵犯から日本を守る
北朝鮮による拉致問題は交渉体制を見直し期限を切って交渉を

消費増税凍結！

維新ならできる！増税なしで改革実現！



日本維新の会 公認
くしだ 誠一



弁護士
元法政大学大学院教授
法大卒
家族 妻 愛犬こはち

身を切る改革！

議員報酬・議員定数の削減

国会議員の報酬を3割カット。議員定数を3割カットします。文書通信交通滞在費(月100万円)の用途を公開し、領収書添付を義務化します。

維新の会 実績 議員報酬 約3割カット 議員定数 約2割カット

国家公務員の人員削減

国・地方の膨大な公務員の総人件費を2割削減することにより、5兆円の財源を生み出します。

維新の会 実績 一般行政職員人件費(大阪府) 公務員数約18%カット 水道局職員を除く

公務員制度改革・天下りの禁止

官僚の天下りを原則禁止します。無駄な外郭団体を撤廃し、税金の流れをストップ。不透明な随意契約を、原則競争入札に。

維新の会 実績 職員基本条例(大阪府) 外郭団体 約63%削減

教育無償化！

科学的な統計データによって、幼児期の教育に対する投資が経済的にも最も効果が大きいことがわかっています。

私立高校の実質無償化
子どもたち一人ひとりが家庭の経済状況に左右されず、受けたい教育を受ける社会へ。

大学の授業料無償化
教育の無償化は国際的な流れ。AI(人工知能)分野の専門人材や、国際競争に打ち勝つ高度人材等を育成し、経済成長につなげます。

生涯にわたり 高齢者の習い事クーポン
健康寿命の伸びに対応し、高齢者の生きがいづくりや、働く意欲のある高齢者が能力を高め、活躍できる社会を実現します。

維新 比例代表も 日本維新の会へ

経済に活力。社会に安心。

上田 いさむ

自民党推薦 公明党公認

私も応援します！ 内閣総理大臣 安倍晋三 内閣官房長官 菅 義偉

- 経済の再生** 所得の向上で景気回復を実感 中小・小規模事業者の支援に全力
- 生活の安心** 消費税10%時に軽減税率を導入 幼児教育、高校授業料を無償化
- 地域の発展** 相鉄線の「開かずの踏切」を解消 JR・東急線への直通運転を推進
- 暮らしを守る** 災害に強い街づくりを加速 アレルギー対策、犯罪防止を強化

- 上田 いさむの主な実績
- ◆中小企業の固定資産税の3年間半額措置を推進
- ◆食の安全へ輸入食品に原産地表示を義務化
- ◆都市農業振興基本法の制定をリード
- ◆多重債務者救済のための貸金業法改正を推進
- ◆都市の暮らしを守るマンション管理適正化法を制定
- ◆保土ヶ谷バイパスの低騒音舗装を推進
- ◆二俣川・鶴ヶ峰・三ツ境駅にエスカレーターを設置
- ◆男女対象の大腸がん検診無料クーポンを実現
- ◆誰もが利用できるように奨学金制度を拡充

- 1958年生まれ、59歳。横浜市出身。
- 東京大学農学部卒業後、農林水産省に勤務。
- 在職中に米國コーネル大学大学院で経営学修士(MBA)を取得。
- 1993年に衆院初当選後、7回当選。
- 財務副大臣として経済・財政・金融政策に尽力。
- 財務総括政務次官、衆院経済産業委員長を歴任。
- 現在、公明党国際委員長、同政務調査会会長代理、同経済再生調査会会長、同首都直下地震対策本部長、同神奈川県本部代表。



上田 いさむ
うえだ いさむ